

令和3年7月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和3年7月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

神社行列や山車運行の中止が決まっている今夏の八戸三社大祭について、8月2日におがみ神社で執り行われる例祭の様子がYouTubeやマチニワの大型ビジョンでライブ配信されることとなりました。

また、8月1日と2日にそれぞれ執り行われる神明宮の「休止奉告祭」と長者山新羅神社の「中止奉告祭」の映像を収録し、3神社の神事の様子に解説を付けるなど編集されたものが、後日マチニワで上映されるほか、YouTubeでも配信されます。

このほか、8月1日には「祭りの中の造形美」をテーマとしたパネルディスカッションがマチニワで開催され、ライブ配信も行われますので、みなさま、今年の三社大祭はぜひ映像でご覧ください。

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

【行政】

記事	概要
(1)	<p>種差地区「新潮観荘」構想 公共施設との複合化検討</p> <p>八戸市が種差海岸エリアへの整備を模索する「(仮称)新潮観荘」の構想について、南浜公民館や南浜市民サービスセンターといったエリア内の公共施設と複合的に整備する方向で検討を進めることが明らかになった。潮観荘は、大正から昭和にかけて活躍した鳥瞰図絵師・吉田初三郎が構えたアトリエ兼別荘で、1953年に焼失。種差海岸にゆかりある文人らの紹介や観光案内機能を備えた新潮観荘構想は、潮観荘跡地への立地を見直し、老朽化が進む公共施設の建て替え期に合わせて整備する方針となった。最終的な立地場所と整備時期は、社会情勢や地域ニーズ、財政状況などを勘案して判断する。</p>
(2)	<p>中学の「部活動指導員」活躍 教員負担軽く</p> <p>教職員の働き方改革が進む中、負担軽減の一助となっているのが、公立中学校を中心に配置される「部活動指導員」の存在。指導員制度は教員の多忙化や競技経験のない部活動を担当する心的負担の解消へ、文部科学省が2017年に制度化したもので、指導員は、技術指導や引率、会計管理など部活動の運営に必要な業務の多くを担うことができ、報酬も支払われる。八戸市内の指導員は、2020年度は4校4人だったが、2021年度は8校8人と倍増した。導入する市内の中学校では、顧問の業務が約25%減り、その分を授業準備に充てているとの報告が出されており、教育環境の充実へ一定の成果が表れている。</p>
(3)	<p>新型コロナワクチン 八戸市独自の職域接種方式導入</p> <p>八戸市は6月15日、新型コロナウイルスワクチンの職域接種について、市独自の接種方式を導入すると明らかにした。市を事務局に八戸商工会議所、市医師会、市立市民病院などと実行委員会を組織。国への申請や医療従事者の確保、接種会場の提供といった業務を企業側から受託し、早期の接種につなげるのが狙い。同じ業種の会社や組合組織などで「企業群」を構成し、その従業員の家族らも対象に加え、千人以上の職域接種とする方式を想定している。職域接種を促すことで、広くワクチンを行き渡らせ、市民生活を守ると同時に地域経済の回復を目指す。</p>
(4)	<p>旧八戸シーガルビューホテル 八戸市がサンメディックスと契約</p> <p>八戸市は、昨年4月に閉館した同市鮫町の旧八戸シーガルビューホテルの土地・建物について、医療や介護、教育事業を展開するSGグループ(本部・同市)のサンメディックスと賃貸借契約を締結した。年間賃貸料は332万円で、契約期間は6月1日から5年間。開業時期は未定だが、今後は同社が三陸復興国立公園に立地するホテルとして再整備を目指し、宿泊とアクティビティーを楽しめる複合施設にリニューアルする方針。</p>
(5)	<p>八戸圏域の交通系ICカード 名称は「ハチカ」</p> <p>八戸圏域で八戸市営バスと南部バスが来年3月にサービス開始予定の交通系ICカード「地域連携ICカード」について、バス事業者の市と岩手県北自動車(盛岡市)は6月24日、名称が「ハチカ」に決定したと発表した。八戸圏域8市町村の「ハチ」とカードの「カ」を組み合わせた片仮名表記で、デザインは南部バスの赤、市営バスの青、明るさや元気をイメージした黄の3色が印象的なものとした。地域連携ICカードは、JRなどの鉄道利用や電子マネーといったSuica(スイカ)機能に加え、路線バスの運賃支払いや定期券などとして使える地域独自のサービスを併せ持つ。</p>

(6)	<p>八戸市 新美術館 11月3日開館</p> <p>八戸市は、市中心街で建て替えた新美術館の開館日が「文化の日」に当たる11月3日に決定したと明らかにした。開館記念の企画には、写真家や現代美術家、映像作家らのアーティスト10組が参加する予定で、八戸三社大祭を切り口に表現したアートの展覧会やプロジェクトを展開する。開館に先立ち行われるプレ事業第1弾の実施予定日である8月8日から数えて開館日が88日目にあたるため、八戸の「8」にちなんだ日として設定した。</p>
(7)	<p>あおぐら2020年度実績 青森県に103人移住 八戸市が30人で最多</p> <p>青森県外から県内への移住を促す「あおり移住・交流推進協議会」は、東京・有楽町に設置している「青森暮らしサポートセンター」（略称・あおぐら）の2020年度実績を公表した。相談件数は延べ2331件（前年度比527件増）で、実際に移住を決めたのは103人（28人減）だった。移住決定者へのアンケートによると、67人が地元へのUターンで、年代は30代が最多。移住先は八戸市が30人で最も多く、弘前市15人、青森市9人と続いた。</p>

【産業】

記事	概要
(8)	<p>八工研など実験 水質調査にドローン</p> <p>青森県産業技術センターの八戸工業研究所（八戸市）と内水面研究所（十和田市）、水産総合研究所（平内町）の3機関が、水産分野で着水型小型無人機（ドローン）の活用に向けた研究や実証実験を進めている。水質調査や水中の藻などについて調べる際、防水仕様のドローンを着水させ、つり下げ装置でカメラや観測機器などを水中に垂らす仕組み。八工研がつり下げ装置の開発を担当し、内水面研は湖沼、水総研は海で、それぞれ動作確認や水中撮影、水質データなどを調べる。従来のダイバーによる作業を無人化し、安全性の向上やコストダウンを目指している。</p>
(9)	<p>農水省データベースに青森県内郷土料理29品追加</p> <p>農林水産省は、全国各地の食文化をまとめたデータベース「うちの郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～」に、青森県を含む17県の料理を追加したと発表した。同省では2019年度から、各都道府県にある郷土料理を次世代に継承することを目的にデータベースを公開。青森県内からは、せんべい汁やひつつみ、豆しときなど29品が新たに選定された。データベースではレシピのほか、各地の風土や特徴などについて掲載し、動画では地域の名所や産業などについても触れている。</p>
(10)	<p>トヨタカローラ八戸 市民病院にドクターカー寄贈</p> <p>トヨタカローラ八戸は6月17日、八戸市立市民病院で2010年3月から運用しているドクターカーの新車両として、トヨタ「RAV4PHV」を同病院に寄贈した。これまでよりも広くなったラゲージスペースには多くの医療機器を積載できるほか、大容量バッテリーも搭載し、最大1500ワットの電力供給も可能になった。日々の救命救急活動だけでなく災害時の活用も想定され、地域の救急医療のさらなる発展に期待が高まる。</p>
(11)	<p>八戸発クラフトビール カネク醸造が八高専と共同研究</p> <p>「八戸麦酒（ビール）」のブランド名でクラフトビールの製造を進めている八戸市のカネク醸造が、八戸高専の山本歩准教授とビール造りに関する共同研究に取り組んでいる。ビール造りで新たに使用が検討されているのは、八戸高専の敷地内にあるツバキの花から採取した酵母で、ビール醸造に適する可能性が高いという。産学連携による相乗効果で、醸造技術の向上や安定化を図る。カネク醸造は現在、初出荷に向けた醸造作業中で、商品のデビュー時期は7月以降になる見通し。</p>

(12)	<p>新美術館向かいにカフェなど 南部電機が空きビル取得</p> <p>自動車電装品の販売や修理などを手掛ける八戸市の南部電機が、同市番町の空きビルを取得したことが分かった。テナントには同市のコミュニティーラジオ放送局・BeFMが移転するほか、カフェやコワーキングスペースなどを設ける方針で、道路を挟んだ向かい側に今秋開館する新美術館と連動した新たなにぎわい創出を見込む。将来的にはコワーキングスペースに集う人と市が八戸商工会館内に開設する「はちのへ創業・事業承継サポートセンター（8サポ）」をつなぎ、同市での起業や創業にもつなげたい考え。8月ごろから改装工事に入り、来年2月ごろのリニューアルオープンを目指す。</p>
------	---

【地域】

記事	概要
(13)	<p>種差朝ヨガ開催 青空の下リフレッシュ</p> <p>八戸市の種差海岸天然芝生地で6月5日、波音を聞きながら芝生の上でヨガを楽しむ「種差朝ヨガ」が始まった。種差地区の住民を中心とした団体「種差あねっこ」が2015年から夏季限定で開催しており、毎年延べ千人を超える市民らが参加している。この日は75人が参加し、雄大な太平洋を眼前に朝日を浴びながら心身をリフレッシュした。種差朝ヨガは9月までの毎週土曜と第4日曜の午前7～8時に開催。参加料は500円（小学生以下無料）で予約不要。</p>
(14)	<p>蕪島全体に繁茂するナタネ ウミネコ繁殖に影響大</p> <p>ウミネコの繁殖地として、国の天然記念物に指定されている八戸市鮫町の蕪島で、島全体に繁茂するナタネがウミネコの繁殖に大きな影響を及ぼしている。ウミネコの研究者が2020年度、島内にナタネを短く刈り取った「管理区」とそのままにした「非管理区」を初めて設定し、調査を実施。管理区での産卵数は非管理区よりも1.6倍多かったことが分かった。戦後に観光振興目的で植えられたナタネは、5月中旬には黄色い花が咲き、蕪島の景観に一役買っているが、間引きするなど定期的な植生の管理により、ウミネコの繁殖への影響を減らすことができると研究者は指摘している。</p>
(15)	<p>豊崎中 八戸市内で初 4月から中間・期末テスト全廃</p> <p>八戸市立豊崎中は本年度から、中間・期末の定期テストの全廃を決めた。代わりに毎日、小テストを行うなどし、“一夜漬け”ではない学力の定着を図る。全廃は市内唯一とみられ、青森県内でも珍しい取り組み。市教委によると、生徒の学力評価の方法は各校の裁量に委ねられており、各学校で授業や家庭学習、定期テストについて見直す動きが広がっているという。豊崎中は1年間の状況を見ながら、今後の学力評価の在り方について検討を続ける方針である。</p>
(16)	<p>八工大二高の女子生徒3人 ラジオ番組で情報発信</p> <p>八戸工大二高の2年生3人の女子生徒グループ「Jkchan」が、ラジオを活用したまちづくりに挑戦している。4月に八戸市のコミュニティーラジオ放送局・BeFMで「JKまるわかりバラエティー Jkchan」を始め、八戸圏域連携中枢都市圏を形成する8市町村の情報などを発信。企画や出演、編集などの全てをメンバーが手掛け、テーマは時事ネタのほか、学校や友人、恋愛など多岐にわたる。結果や明確な結論をあえて求めない「ゆるさ」をキーワードに活動し、若者ならではの柔軟な発想と視点を地域の活性化に生かそうと取り組んでいる。番組は毎週火曜午後2時半～45分放送。</p>

(17)	<p>「フラット八戸」活用 「盛り上がり隊」中心ににぎわい創出</p> <p>土地区画整理事業が進行中の八戸駅西地区で、八戸市と住民有志が立ち上げた「八戸駅西地区で盛り上がり隊」が中心となり、多目的アリーナ「フラット八戸」を活用したにぎわい創出に取り組んでいる。同隊は昨年7月から本格的に活動を開始。同隊の発足以降、目的に賛同する住民は増え、フラット八戸の屋外スペースを会場としたラジオ体操など、主催イベントへの参加者も増加している。駅西地区は市街地開発で宅地化が進み、居住人口が伸びている地域のひとつ。若い世代が活発にアイデアを出し合い、新たな形のまちづくりを目指している。</p>
------	---

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	<p>聖火 八戸など4市町 公道でリレー</p> <p>東京五輪の聖火リレーは6月11日、青森県内の日程（6月10、11日）で初となる公道でのリレーが行われ、八戸、十和田、おいらせ、階上の4市町5区間をランナー69人が駆け抜けた。最終区間の八戸市では、レスリング女子でロンドン五輪金メダルを獲得した地元出身の小原日登美さんが蕪嶋神社をスタートし、県内最終走者はレスリング女子で五輪4連覇を達成した伊調馨さんが務めた。県内のリレーを締めくくるセレブレーションが開かれたゴール地点の館鼻漁港には、聖火を一目見ようと市民ら約380人が訪れ、伊調さんが聖火皿に点火すると、会場は大きな拍手に包まれた。</p>
(19)	<p>東京五輪・ラグビー 本村直樹（八戸出身）代表選出</p> <p>東京五輪のラグビー男子日本代表（7人制）に、八戸市出身の本村直樹（ホンダヒート）が初めて選出された。本村は恵まれた体格と思い切りの良いランニングが武器で、ゲームの流れを読み、効率的に動けるスマートさも光る。2019年11月に右脚を骨折するけがに見舞われたが、手術を経て復帰。昨年11月に代表選考の一環で行われた紅白戦ではゲームキャプテンを務め、全2試合で5トライと躍動し首脳陣にアピールした。同競技は7月26～28日に東京スタジアムで行われる。</p>
(20)	<p>サッカー天皇杯 ヴァンラーレ八戸金星 J1横浜FC撃破</p> <p>サッカーの第101回天皇杯全日本選手権の2回戦が6月16日に行われ、J3ヴァンラーレ八戸はJ1の横浜FCを2-1で破った。前半は相手がJ1チームというプレッシャーもあってか、思うように攻撃のリズムをつくれなかったが、緊密な守備で隙を与えず、ボールを持てば果敢に攻め上がり、後半18分に右クロスのかぼれ球を島田拓海が詰めて先制。同29分に相田勇樹のミドルシュートで加点した。猛攻を受けて終盤に1失点したが、運動量を落とさずしのいだ。八戸は攻守の出入で上回り、好内容に敵地のサポーターからも拍手を送られた。</p>
(21)	<p>木村書店の及川晴香さん7月出版 3年分のポップが一冊に</p> <p>八戸市の木村書店でポップを担当する及川晴香さんの3年分の作品を集めた本「青森の八戸にある小さな本屋さんの猫がかわいいポップの本」が、7月中旬に小学館から出版される。及川さんは2015年ごろからポップ作りのためイラストを独学で始め、来店客の要望でポップ付きで本を販売するようになった。するとその取り組みが注目を集め、イラストを公開する同書店のツイッターのフォロワーは2万4千人超えに。本のポップをまとめた書籍は珍しく、ツイッターにも全国のファンから期待の声が寄せられている。本の中には書店のオリジナルキャラクター「きむねこ」が登場したイラストがずらりと並び、及川さんが厳選した105冊を緩いタッチで紹介している。</p>

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただく寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください！



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主幹] 川村 幸男 [事務員] 浜井 章代

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要な事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



送付先

八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。